

令和8年5月30日

2026

Vol.62

さくらタイムス

発行者:伊南桜木園

長野県駒ヶ根市中沢 2512

TEL 0265-83-7531 FAX 0265-96-7150

Email: sakuragi@cek.ne.jp

海外協力隊がやってきた

5月22日(金)と29日(金)午前9時すぎから、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所の訓練生4名が所外活動のため来園しました。

中谷萌香さん(三重県伊勢市出身/派遣国スリランカ)稲垣良哲さん(愛知県名古屋市出身/派遣国ボリビア)久納和果奈さん(愛知県名古屋市出身/派遣国ペルー)松原昇平さん(群馬県伊勢崎出身/派遣国セネガル)の4名です。

ところで、5月22日(金)野溝農園様でアスパラガスのハウスの除草作業を協力隊の皆さんと行いました。そして、5月29日(金)にはトウモロコシ畑で除草作業やU字溝の清掃を行いました。

一緒に作業を行った篠原さんは「協力隊の皆さんと作業ができて嬉しかったよ」と話していました。また、小澤さんは「協力隊の皆さんとお話できて嬉しかったです。トウモロコシ畑には草がたくさんあって大変でした」と話していました。

2日間の実習を終えた稲垣さんは「皆さんにやさしく迎えてもらい嬉しかったです。誰もが活躍できる場所があることはいいことだと思いました」。松原さんは「皆さんやさしく声をかけてくれました。自分もこの場所や環境で働きたいと思う位でした」。

久納さんは「除草作業やU字溝の清掃など楽しく作業ができました。また、多くの皆さんとお話できて嬉しかったです。利用者の皆さんが社会の中で働いている姿を見て、とても勉強になりました」と話していました。

中谷さんは「あたたかい雰囲気癒されてほっこりしました。時間どおりにそれぞれ役割を果たしていて、私も見習おうと思いました」と話していました。



ニンニクの芽のとう摘み作業

4月30日(木)Climb farm(下島代表)様からの依頼により、ニンニクの芽のとう摘み作業を行いました。初めて作業に参加した長崎さんは「上手くニンニクの芽を摘むのが難しかった」。また、木下(恵)さんは「ニンニクの芽が途中で切れてしまい、こつをつかむのが難しかったです。でも、午後は少し上手くできるようになりました」と話していました。

ところで、下島さんから摘み取ったニンニクの芽を販売してはどうかと提案がありました。ニンニクの芽に栄養が集まると球根の成長を妨げてしまうためこれまでは殆ど廃棄していたそうですが、食材にすると有効活用ができるということで無償提供していただきました。

出荷のため長さで選別して、100g と150gを計量して袋詰めを行いました。

そして、下島さんにも協力していただき、ベル



シャインなどニシザワの系列店舗やJAの系列店舗などの生産者コーナーにニンニクの芽を並べました。

下島さんは「慣れない作業のなか、一生懸命やっていただきました。ありがとうございました」と話していました。



岩見農園施設外就労

5月11日(月)午前9時すぎから岩見農園様からの依頼でアスパラガスのハウスで除草作業を行いました。作業に参加した青木さんは「抜けない草があって大変でした」。また、木下(瑠)さんは草がたくさんあって大変でしたが、きれいになりました」などと話していました。



- ・6月2日(火)昭和伊南病院施設外就労
- ・6月8日(月)伊那支援学校生徒実習
- ・6月11日(木)昼食会
- ・6月17日(水)福祉を考える企業の会総会販売会
- ・6月18日(木)伊那中央病院販売会
- ・6月20日(土)やまびこ茶屋販売会
- ・6月24日(水)ポスティング
- ・6月26日(金)日発資源回収
- ・7月9日(木)昼食会
- ・7月20日(月)海の日
- ・7月29日(水)ポスティング
- ・アルミ缶などの回収にご協力をお願いします。

編集後記

薫風が吹き抜ける清々しい季節となりました。最近、余り多くは見かけなくなりましたが、初夏の太陽の光を浴びて黄金色に輝く「麦秋」の風景も大変美しいですね。

さて、季節は足早に「新緑」から「深緑」へと移ろい、5月18日(月)には日田市と豊岡市で最高気温が35℃を超える真夏日を観測したそうです。まもなく梅雨の季節を迎えますが、体調の管理に十分注意してください。また、こまめに水分を摂取するなど熱中症対策もお願いいたします。(N